

総合政策研究科

リサーチ・コンソーシアム
連携公開ゼミナール

リサーチ・コンソーシアム連携公開ゼミナールは、総合政策研究科の教育・研究を正会員他広く一般の方々にも公開することで、教育・研究活動の活性化を目指して開催しています。2018年度は次の通り開催が決定いたしました。第1回目は機運が高まってきている持続可能な開発目標（SDGs）に関するテーマ、第2回目はパークマネジメントをキーワードとして、公共施設スペースの活用のありかたを参加者とともに考えます。

第1回



講師
菅谷 秀光氏

1977年農林省（現農林水産省）に入省。環境省大臣官房審議官、農林水産省大臣官房審議官、関東森林管理局長を経て2008年に退官し、伊藤園に入社。経営企画部長、取締役などを経て現在同社顧問。

激動の世界において、環境・社会の持続可能性が必須です。今求められる外来語 CSR/SDGs を自分ごと化して発信する「発信型三方良し」と関係者連携の「協創力」を考えます。行政経験（農林水産省・環境省出向・外務省出向など31年間）とビジネス経験（伊藤園で10年間）を活かし、企業の社会的責任、地方創生などのテーマを皆様と考えます。特に、企業ブランディングと社員士気の向上を通じて企業価値を高めるための理論と実践（CSR、CSV、SDGsなどの応用）について深めます。

大学、自治体、企業がSDGsをいかに
知っておくべきか、どうすべきか

12/6（木）18:30-20:00

第2回



講師
安田 卓宏氏

吹田市花とみどりの情報センター総括センター長。樹木医・街路樹診断士・公園管理運営士。これまでに、都市公園・街路樹・動物園等の調査・計画・設計、都市公園・植物園等の管理運営に携わる。株式会社日比谷アメニス所属。

公園や街路など公共空間を使ったマーケットやワークショップなど魅力的なイベントをまちなかで目にするようになってきました。また、国も民間の力を活かし、みどりやオープンスペースを活用したまちづくりを実現することを目指して、都市公園法等の法律を改正するなど制度づくりが進んでいます。そして、吹田市では公民連携による一つの公共施設の運営から、吹田市におけるみどりのまちづくりを形にする取り組みがはじまっています。本ゼミナールでは、公民連携によるまちづくりのためのフィールドとしての公園や街路空間を活用する仕組みについて模索をはじめた「吹田市花とみどりの情報センター」の2年半の取り組みをご紹介します。

新しい「まちづくり」のかたち
みどりや公園を使って楽しくする
公民連携による
吹田市花とみどりの情報センターの
取り組み

12/19（水）18:30-20:00

参加費

無料

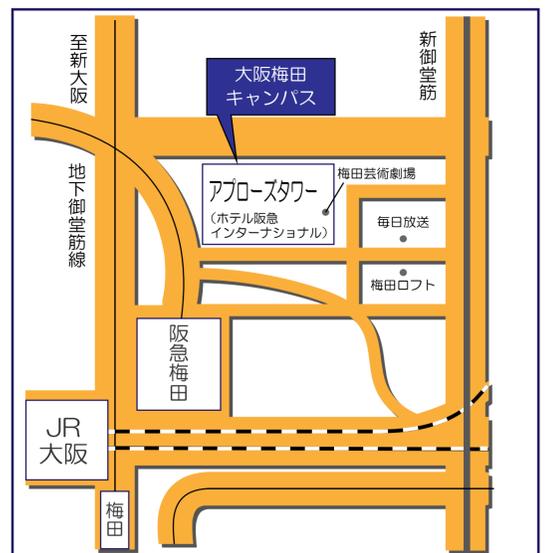
定員

各回 40名

会場

大阪梅田キャンパス 10階 1005号教室

本学大阪梅田キャンパスまでの
会場アクセスマップ



☆阪急梅田駅から徒歩5分

■申込方法: ①ご氏名 ②ご職業 ③ご年齢 ④参加希望日時
を明記いただき、電子メールにて下記事務局アドレス宛にお申込み下さい。

■申込・問合せ先: <リサーチ・コンソーシアム事務局>
関西学院大学 大学院総合政策研究科事務室
(e-mail: gspc-rc@kwansei.ac.jp) / Tel. 079-565-7601

お申込みは先着順で受け付けます。定員になり次第締切とさせていただきます。総合政策学部 HP でお知らせいたします。
※取得する個人情報は、セミナーに関するご案内・ご連絡、セミナーの参加登録、及び本学からの情報提供のために利用します。

